



品川シルバー大学同窓会

2024年11月20日

第112号

# 会報

品川シルバー大学同窓会 事務局  
TEL 070-4390-3258  
ssu.dosokai.jm@gmail.com

見学会・講演会のメールでの申込みは [ssu.dosokai@gmail.com](mailto:ssu.dosokai@gmail.com) (問合せ080-6634-6797)

2024年度 第2回見学会

## 国宝迎賓館赤坂離宮と庭園散策

場 所：国宝迎賓館赤坂離宮  
住 所：東京都港区元赤坂2丁目1番1号  
日 時：2024年9月27日（金）  
12：25－15：30

参加者数：101名

### ー公式行事ときらびやかな迎賓館ー

小雨が降る中、迎賓館赤坂離宮に入る。迎賓館の並木道の向こう側に「学習院初等科」の学校があり、ここで皇族等の子女子息が学んでいるのかと初めて知った。

荷物検査を済ませ、じゅうたんを踏み奥に入る。公用室は豪華な雰囲気、シャンデリアは重厚な光を放ち、天井や壁面は格調高く国威を発揚させる雰囲気を醸し出している。初めての私にとっては場違いな空間であると思いつつ、公用室は首脳会談、表敬訪問、署名式、レセプションや晩餐会など様々な公式行事が行われており、日本を代表する本館となっていることを納得した。洋風の雰囲気が多い中、和風にも配慮し「羽衣の間」には鎧兜の漆喰が出入口に飾られ、その他の室にも和風を随所に配慮されている。



前庭にて

首脳会談や賓客の晩餐会など公式行事の多くは総理大臣が差配するが、晴れがましさと緊張感が漂う中、総理大臣や皇族の激務の一端が見られ、テレビや新聞等で報道される公式行事は、どこの部屋が使われたのか注視したいと思う次第です。

晩餐会の料理はどの様な物が出され、洗練され吟味された味を一度は食べてみたいなど妄想しながら料理の写真に目をこらした。

余談ですが、「国賓」のみが迎賓館に宿泊出来、「部屋を公開すると良いですね」と尋ねると館の職員も見ることがないとのこと？

(プライベートな場所であり、保安上の問題で非公開？)

また、出口の門にいた警察官の制帽の紋章を



迎賓館赤坂離宮正面

見せて貰ったが、皇宮警察は五七の桐の紋章を使い、正門の上にある菊の紋章は天皇陛下のみが使い、皇族たちは五七の桐の紋章であることを教えて貰った。

(ちなみに警視庁は桜の帽章です)

迎賓館を再度訪問する機会があれば、ガイドホンを借り時間をかけて各室の内容を理解したいと思っている。今回とは違った感想となっているのではないかと思います。

中越 勝 (2016年入会)



裏庭にて

### ひとこと感想

- ・ボランティアの方の説明も聞く事が出来て良く分かりました。
- ・説明がなかったので、くわしく聞きたかったがかなわなかった。
- ・日常の生活と違う中、すばらしい。見せて頂き唯々感動でした。参加してとてもいい機会を頂きましてありがとうございました。
- ・きらびやかな建物・装飾・調度品・絵画・タペストリー・ドレープ等々立派でした。
- ・個人では面倒で申込できずにいました。今回企画していただき感謝です。テレビの特集では見ていたのですが生はすごかったです！
- ・一度は訪れたいと思っていたので、良かった(一人では来られません)。
- ・今までと違い見学もゆったりと自由にできて良かったです。
- ・テレビで映る部屋が見ることが出来大変良かった。数々の金箔を使って素晴らしい創りを見れて感激でした。
- ・班行動が入場してから“どこに集合か”“何時に”等、聞かないと分からず周りの方と声を掛けて券購入後行動をしました。
- ・特別に団体割引のない料金に見学も個々に

自由で一緒に来て見学をしている感じではなかった。

- ・今回は二度目でしたが毎回すばらしい発見に心が踊ります。



前庭にて

## 2024年度 第3回見学会

### 消防博物館見学

場 所：消防博物館

住 所：東京都新宿区四谷3丁目10

日 時：2024年10月31日(木)

10:00 - 15:00

参加者数：56名

#### 消防博物館を見学して

雨模様の日が続く中、晴天に恵まれ、楽しみに博物館へ向かい、10階建ての地下1階に、集合しました。

まずは5階の日本の消防の夜明けとなる、江戸時代の火消しの様子から、江戸の町の様子がわかる、ジオラマの素晴らしいこと、緻密な製作に驚きました。係の方の説明によりまずと、先ず火事を見つけると火の見櫓で太鼓を叩き、それから半鐘を打ち鳴らして人々に



消防博物館(四谷消防署)



江戸の町火消し

知らせる。太鼓より先に半鐘を打ち鳴らすことは許されない、という決まりがあったそうです。そして町方の各組の纏持ちはハンサムで力持ちの人が選ばれたそうです。

町方の火消しや殿様、奥方様の装束から、現代の消防士さんまでの消防服の変遷の様子が展示してあり、火災の家を壊すから、消すまでの道具もいろいろ展示してありました。

明治維新と共に消防制度も改革され、明治元年（1868年）に武家火消しは廃止され、「火災防衛隊」という組織が編成され、また廃止、明治5年（1872年）に町火消しを「消防組」と改称し、明治7年（1874年）に東京警視庁に属することとなったそうです。また明治13年（1880年）に内務省警視局消防本部の所轄になって初めて今日の消防職員が採用され、現代の東京消防庁の前身となったそうです。

そして大正12年（1923年）の関東大震災を契機として、消防組織や体制作りが推進され、昭和23年（1948年）に消防組織法が成立して完全に独立して、東京では23の特別区を連合して1つの市とみなし、都知事が管理する「東京消防本部」が発足しました。



初期のはしご車

地下には東京で初めての消防ポンプ自動車<sup>が</sup>導入され、大正元年以来、年々進歩を遂げて、大正時代から平成にかけての赤いピカピカの名車がずらりと並び「いすゞの木製はしご車」「ベンツの5連梯子車」など現代の救急車も近くで見ることができ圧倒されました。

最後に10階のラウンジで喉を潤して、少々の疲れを癒し見学を終了しました。

企画してくださった役員の皆様、ありがとうございました。

私も麹町に住んでおりましたので四谷の街並みを少し懐かしみながら駅に向かいました。

多喜代 瑩子（2022年入会）



本物のヘリコプターの操縦席へ

### ひとこと感想

- ・火消から現在の消防の歴史が、素晴らしい展示で良い知識になりました。現在のはしご車を近くで初めて見ました。
- ・ガイドさんの説明がとてもわかりやすく消防の歴史等勉強になりました。
- ・説明がゆっくりでわかりやすかった。その説明に加えて自分の博識をのべる方がいていささか耳障りでした。
- ・案内の方の声が聞きにくかったです。とても歴史を感じて良かったです。百年でこんなにすばらしく変化してすごいと思います。
- ・生活そして生命を守るために昔より命をかけて火消し（消防）時代をへて防災について発展。火の用心をしなくてはと思います。消防歴史はすばらしい。
- ・消防博物館に来てよかった。知り合いのチビッ子達に勧めたい。
- ・後日孫たちを連れてきたいと思います。
- ・案内の道順が大変分かりにくい。工夫が必要ではないですか。

- ・朝の受付場所がわからず迷いました。同じように探している人が3人ほどいたので少し安心しました
- ・駅改札、建て物入口に旗を持って立って下さったので安心して参加できました。ありがとうございました。
- ・大変詳しく説明して頂きありがとうございます。時代と共に進んで来た事がよくわかります。それにしても日本は地震国、木、紙の家屋の時代をへて今日に至っている事が良くわかりました。

### 計 報

品川シルバー大学同窓会において講演会や見学会等で中心的な役割を担っておられた理事 佐藤増雄 殿(享年77歳)が、2024年9月15日にご逝去されました。謹んでお知らせ申し上げますと共に、心よりご冥福をお祈りいたします。

品川シルバー大学同窓会役員会

### 一 寄稿のお願い 一

当会報では会員の皆様からお寄せいただく記事をお待ちいたしております。写真、随筆、俳句、書画なんでも結構です。以下のアドレスに送っていただくか、役員に手渡していただいても結構です。以下、送付先メールアドレスです。QRコードからも送信できます。ご意見、ご希望等もこちらからどうぞ！  
ssu.dosokai.jm@gmail.com



### あとがき

囲み記事にもございますように、佐藤増雄氏

川 柳 雑 詠

SAMURAI 映画世界 席卷し のぼる  
 大谷は 悲願世界一 勝ち取った のぼる  
 久々に 枯れ葉ふみしむ 深大寺 きくえ  
 木枯らしが 吹いて食卓 鍋料理 きくえ  
 いま観たし 化石になった 映画たち ゆみこ  
 コロナあと ランチタイムの 友ふえて ゆみこ

のご不幸に驚かれた会員の方も多いことと存じます。我々役員会も、有力な戦力を突然失い、大変戸惑っております。会員の皆様には、今まで以上のご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。役員一同、心を引き締め、今後の活動に精励して参る所存です。

寒暖の差が激しい毎日ですが、どうかお身体を大切に、引き続き同窓会活動にご参加いただければ幸いです。



(S.K)

会報掲載QRコード

## 講演会・見学会のご案内

### ★A講演会(第4回)

「品川学芸高等学校による  
クリスマスコンサート」  
出演 品川学芸高等学校在校生・その他

日時 2024年12月23日(月)

14時～16時

受付 13時30分～13時50分

募集 150名

会費 300円

場所 きゅりあん1階小ホール

### ★B見学会(第5回)

「増上寺(僧侶による山内案内)」

日時 2025年1月27日(月)

(小雨決行) 10時～12時

受付 9時30分～9時50分

集合 増上寺山内・増上寺会館1階食堂

募集 80名

会費 1,100円

(僧侶ガイド料と保険料等)

### 詳細内容・申し込み方法

同封のチラシを参照ください。

締切日 2024年12月6日(金)

~~~~~

### ★今後の行事予定

(詳細は1月号にご案内)

### ・第5回講演会

演題 健口習慣でフレイル予防を!

講師 日本歯科大学東京短期大学

歯科衛生学科

合場千佳子先生

日時 2025年2月21日(金)

第6回見学会 バス旅行

行先 水戸偕楽園観梅と

水戸藩校 弘道館見学

日時 2025年3月4日(火)